

令和 8 年 8 月 1 日

令和 7 年度 特別の教育課程の実施状況等について

学 校 名	管理機関名	設置者の別
フェリーチェ玉村国際小学校	玉村町（企画課）	株立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
フェリーチェ玉村 国際小学校	https://www.felice.ed.jp/elementary/special-curriculum/

※必要に応じて行を追加すること。

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
フェリーチェ玉村 国際小学校	https://www.felice.ed.jp/2026/02/23635/	https://www.felice.ed.jp/2026/02/23635/

※必要に応じて行を追加すること。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

（1）特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・ ☒ 計画通り実施できている
- ・ ☐ 一部、計画通り実施できていない
- ・ ☐ ほとんど計画通り実施できていない

（2）実施状況に関する特記事項

※（1）で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

（3）保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・ ☒ 実施している
- ・ ☐ 実施していない

<特記事項>

保護者に対しては、新年度の方針説明を学年懇談会の際にプリントして通知している。また、定期的に HP や学校だよりにより通知している。

4. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

学校教育目標として「正しく判断し行動できる豊かな国際性を身に付けた児童の育成」を掲げ、特別の教育課程として新設教科「英語科」を設置し週 5～7 時間の英語の指導と T. T による週 10 時間の英語指導を実施している。

効果が上がっている点

- ・英語の力は本校が掲げている卒業時まで英検 2 級を取得するという目標がほぼ達成してきている。特に令和 6, 7 年度には 2 人の児童が実用英語検定 1 級に合格した。国内 British Hills への研修を実施し、プレゼンテーション力の向上に努めている。
- ・日本語教育においても国語、社会、算数、理科について定着してきている。少人数制でもあり、一人一人に寄り添い問題解決型の授業を進め、日本の学力をしっかりと保証し、中学校への学習を確かなものになっている。そのほか、体験型学習を多く取り入れ、キャリア教育を進めている。

課題

- ・1 学年の人数(定員)が少ないため仲良く過ごせるクラス作りなど生活指導にきめの細かい配慮と指導が必要である。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

教育基本法及び学校教育法の目標には「各個人の有する能力を伸ばし、自立的に生きる力を養い、社会の形成者としての基本的な資質を養う。」とある。それらを踏まえ、学習指導要領に則った英語イマージョン教育は英語学習の中で自分の考えを発表する自立的な態度を養う学習である。また、英語学習は言語学習にとどま多様な文化や生活習慣に触れる機会が増え、国際社会で活躍するための基盤が築かれている。

4. 課題の改善のための取組の方向性

- ① 日本語の授業と英語の授業の指導法の融合を目指し、日本人と外国人の教師のコミュニケーションを深め、より国際化教育を高める。
- ② 日本人教師、外国人教師の指導の連携を深め、本校の進めるキャリア教育を高める。
- ③ 低中高の学年ブロックによる指導の質を高めるとともに、質の高い学習を実現していく。